



## 2022年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年1月14日

上場会社名 サイバーステップ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3810 URL <https://corp.cyberstep.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 類  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 緒方 淳一 TEL 0570-032-085  
 四半期報告書提出予定日 2022年1月14日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年5月期第2四半期の連結業績（2021年6月1日～2021年11月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年5月期第2四半期	4,182	△34.8	△852	-	△872	-	△1,107	-
2021年5月期第2四半期	6,418	△0.3	8	△97.6	△33	-	△36	-

(注) 包括利益 2022年5月期第2四半期 △1,095百万円 (-%) 2021年5月期第2四半期 △59百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年5月期第2四半期	△140.56	-
2021年5月期第2四半期	△4.59	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年5月期第2四半期	3,356	2,563	75.1	317.07
2021年5月期	4,645	3,621	77.0	454.95

(参考) 自己資本 2022年5月期第2四半期 2,519百万円 2021年5月期 3,578百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年5月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2022年5月期	-	0.00	-	-	-
2022年5月期（予想）	-	-	-	-	-

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無  
 2. 現時点では、2022年5月期の配当予想は未定であります。

### 3. 2022年5月期の連結業績予想（2021年6月1日～2022年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無  
 2. 2022年5月期の連結業績予想については、現段階で合理的な業績予想の算定が困難なことから未定といたします。今後、適正かつ合理的な予想が算出可能となった時点で速やかに公表いたします。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年5月期2Q	7,946,901株	2021年5月期	7,866,901株
② 期末自己株式数	2022年5月期2Q	219株	2021年5月期	219株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年5月期2Q	7,877,504株	2021年5月期2Q	7,863,785株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報) .....	8
(重要な後発事象) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業活動や個人消費の停滞により依然として厳しい状況にあります。徐々に経済活動再開に向けての動きは見られるものの、外出自粛傾向の緩和に伴う感染の再拡大が見受けられており、今後の先行きは不透明感が強まっている状況となっております。

わが国のオンラインゲーム市場においては、引き続きユーザー数は伸びているものの、提供タイトルが増加しており、ユーザーの獲得競争が続いております。また、ソーシャルネットワークサービスやWebブラウザゲームなどが幅広い層へと広がっており、引き続き事業環境の変化が続いております。

このような事業環境のもと、当社グループでは引き続き既存サービスの拡大及び収益性の向上に注力すると共に、培ってきた開発技術を応用した新規サービスの開発を進めてまいりました。

現在、主力事業である「オンラインクレーンゲーム・トレバ」（以下、「トレバ」）においては、引き続き操作性の向上を目的としたシステム面でのアップデートを進めつつ、国内外へ向けたプロモーション活動及びキャンペーンの実施により新規ユーザー層の獲得と継続率向上を目指した取り組みに努めてまいりました。

新規タイトルの開発につきましては、スマートフォン向けとして2021年10月に「ハッピークズトピア」、及び2021年11月に「鬼斬 HEROES」それぞれの正式サービスを開始しております。

売上高におきましては、継続した広告宣伝活動により集客に対する効果を見込んでおりましたが、売上高の向上へ寄与するまでには至りませんでした。

コスト面におきましては、抜本的な事業構造の再構築による収益の改善に向けた施策を開始したことで、その一部施策が当第2四半期連結会計期間において費用削減効果として影響しております。当該施策は今後も継続して進めていく予定としております。また、当第2四半期連結会計期間において同様の内容により事業構造改善費用197百万円を特別損失へ計上いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間においては、売上高は4,182百万円となり、前年同期に比べ、34.8%の減収となりました。

利益面につきましては、営業損失852百万円（前年同期は営業利益8百万円）、経常損失872百万円（前年同期は経常損失33百万円）、税金等調整前四半期純損失1,079百万円（前年同期は税金等調整前四半期純損失12百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失1,107百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失36百万円）となりました。

当社グループは、オンラインゲーム事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、セグメントごとの記載はしておりません。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,289百万円減少し、3,356百万円となりました。これは主に、現金及び預金803百万円、売掛金248百万円、流動資産「その他」138百万円、有形固定資産137百万円の減少が生じたことによるものであります。

##### (負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ231百万円減少し、793百万円となりました。これは主に、未払金204百万円、未払費用66百万円の減少が生じたことによるものであります。

##### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,057百万円減少し、2,563百万円となりました。これは主に、利益剰余金1,107百万円の減少が生じたことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ803百万円減少し、1,511百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動により、資金は838百万円減少（前年同期は361百万円の増加）しました。これは主に、事業構造改善費用197百万円、売上債権の減少額240百万円による増加があった一方で、税金等調整前四半期純損失の計上1,079百万円、未払金の減少額200百万円による減少があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動により、資金は26百万円減少（前年同期は262百万円の減少）しました。これは主に、出資金の払込による支出16百万円による減少があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動により、資金は41百万円増加（前年同期は83百万円の減少）しました。これは主に、新株予約権の行使による株式の発行による収入35百万円による増加があったことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月期の連結業績予想については、現段階で合理的な業績予想の算定が困難なことから引き続き未定といたします。今後、適正かつ合理的な予想が算出可能となった時点で速やかに公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,316,185	1,512,325
売掛金	790,669	542,617
貯蔵品	540,688	562,595
その他	331,287	192,394
貸倒引当金	△26,897	△26,300
流動資産合計	3,951,932	2,783,632
固定資産		
有形固定資産	397,203	259,884
無形固定資産	2,133	1,619
投資その他の資産		
その他	353,552	365,637
貸倒引当金	△58,990	△53,990
投資その他の資産合計	294,562	311,647
固定資産合計	693,899	573,151
資産合計	4,645,831	3,356,783
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,232	1,364
未払金	608,476	404,183
未払費用	218,248	151,467
未払法人税等	22,290	21,897
資産除去債務	-	45,519
その他	160,460	168,966
流動負債合計	1,010,708	793,399
固定負債		
退職給付に係る負債	14,052	-
固定負債合計	14,052	-
負債合計	1,024,760	793,399
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,505,031	2,522,986
資本剰余金	1,569,821	1,587,777
利益剰余金	△493,244	△1,600,489
自己株式	△450	△450
株主資本合計	3,581,157	2,509,823
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△2,190	9,840
その他の包括利益累計額合計	△2,190	9,840
新株予約権	42,104	43,720
純資産合計	3,621,071	2,563,384
負債純資産合計	4,645,831	3,356,783

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年11月30日)
売上高	6,418,885	4,182,915
売上原価	1,200,052	1,154,445
売上総利益	5,218,833	3,028,470
販売費及び一般管理費	5,209,961	3,881,138
営業利益又は営業損失(△)	8,871	△852,668
営業外収益		
受取利息	216	57
受取賃貸料	-	17,074
出資分配金	7,033	826
貸倒引当金戻入額	-	5,000
その他	1,401	1,693
営業外収益合計	8,652	24,652
営業外費用		
支払利息	97	-
外国源泉税	8,719	15,504
出資金償却	415	-
為替差損	24,895	1,032
賃貸費用	-	20,221
貸倒引当金繰入額	6,698	-
その他	10,013	7,675
営業外費用合計	50,839	44,433
経常損失(△)	△33,315	△872,448
特別利益		
新株予約権戻入益	20,984	3,816
特別利益合計	20,984	3,816
特別損失		
固定資産除却損	264	2,337
関係会社株式評価損	-	10,935
事業構造改善費用	-	197,115
特別損失合計	264	210,388
税金等調整前四半期純損失(△)	△12,596	△1,079,020
法人税、住民税及び事業税	23,487	28,224
法人税等合計	23,487	28,224
四半期純損失(△)	△36,083	△1,107,245
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△36,083	△1,107,245

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年11月30日)
四半期純損失(△)	△36,083	△1,107,245
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△23,659	12,031
その他の包括利益合計	△23,659	12,031
四半期包括利益	△59,742	△1,095,214
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△59,742	△1,095,214
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△12,596	△1,079,020
減価償却費	86,271	60,414
出資金償却	415	-
株式報酬費用	17,731	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	6,881	△5,597
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	231	△13,680
受取利息	△216	△57
出資分配金	△7,033	△826
支払利息	97	-
為替差損益(△は益)	31,530	△6,449
固定資産除却損	264	2,337
関係会社株式評価損	-	10,935
事業構造改善費用	-	197,115
新株予約権戻入益	△20,984	△3,816
売上債権の増減額(△は増加)	122,425	240,747
棚卸資産の増減額(△は増加)	130,295	△22,549
仕入債務の増減額(△は減少)	33	132
未払金の増減額(△は減少)	35,052	△200,602
前受金の増減額(△は減少)	12,000	2,476
未払費用の増減額(△は減少)	△13,930	△66,979
その他の資産の増減額(△は増加)	123,597	48,528
その他の負債の増減額(△は減少)	△58,306	△30,839
その他	-	13,423
小計	453,759	△854,309
利息及び配当金の受取額	216	57
利息の支払額	△97	-
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△92,140	39,495
事業構造改善費用の支払額	-	△23,829
営業活動によるキャッシュ・フロー	361,738	△838,586
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△200,959	△3,187
無形固定資産の取得による支出	△1,176	-
非連結子会社株式の取得による支出	△1,000	-
出資金の払込による支出	△10,484	△16,612
出資金の分配による収入	7,033	826
貸付けによる支出	△31,000	△10,000
敷金及び保証金の差入による支出	△25,111	△162
敷金及び保証金の回収による収入	-	2,874
投資活動によるキャッシュ・フロー	△262,696	△26,261
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△9,723	-
配当金の支払額	△77,563	-
新株予約権の発行による収入	3,053	5,628
新株予約権の行使による株式の発行による収入	-	35,716
ストックオプションの行使による収入	483	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△83,750	41,344
現金及び現金同等物に係る換算差額	△44,434	19,616
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△29,143	△803,886
現金及び現金同等物の期首残高	2,919,262	2,315,461
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,890,119	1,511,574

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、利益剰余金期首残高に与える影響はありません。また、収益認識会計基準等の適用による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 2019年7月4日）第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(追加情報)

前事業年度の有価証券報告書に記載した新型コロナウイルス感染症の事業に与える影響の仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間（自 2020年6月1日 至 2020年11月30日）

当社グループは、オンラインゲーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2021年6月1日 至 2021年11月30日）

当社グループは、オンラインゲーム事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。